

23 日 獣 発 第 324 号
平成 24 年 2 月 1 日

地方獣医師会会長 各位

社団法人 日本獣医師会
会長 山根 義久
(公印及び契印の押印は省略)

台湾における口蹄疫の続発に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、平成 24 年 1 月 24 日付け 23 消安第 5338 号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添写しのとおり通知がありました。

このたびの通知の内容は、①今般、台湾当局から国際獣疫事務局（OIE）に対し、本年 1 月 19 日に新たな口蹄疫の発生が確認された旨、通報され、OIE 情報等によると、台湾本島の屏東（ヘイトウ）県から澎湖島（澎湖県馬公市）に輸送され、検疫所で係留中の豚に臨床症状（水泡）が認められ、PCR 検査の結果が陽性となったものであること、②今回の事例も含め、昨年 10 月 30 日以降の 4 件の発生事例については、全て豚で水泡等の典型的な症状が認められており、豚は口蹄疫ウイルスの「増幅動物」であることから、大量のウイルスが体内で増幅され、環境中に放出されていると考えられていること、③春節を迎え、台湾内外における人の動きや豚の流通が活発化しており、口蹄疫ウイルスの我が国への侵入も危惧されることであること、④については、台湾及び周辺諸国の口蹄疫の発生状況を別添のとおり更新したので、適宜活用の上、引き続き、家畜伝染病予防法（昭和 26 年法律第 166 号）に基づく飼養衛生管理基準の遵守について畜産関係者等への指導の徹底を、各都道府県畜産主務部長あて通知したので、本会あて円滑な防疫対策の実施につき協力を依頼されたものです。

また、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を農林水産省ホームページ等を通じて積極的に公表していくので、ご活用いただきたい旨も併せて依頼されたものです。

貴会関係者に周知方お願いします。

記

<農林水産省ホームページ：家畜の疾病に関する情報>

URL：http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/index.html

本件内容の問合せ先
日本獣医師会事業担当 長野
TEL 03-3475-1601

【OIE情報等1/24】台湾（澎湖県 馬公市）における口蹄疫の発生について

平成24年1月24日

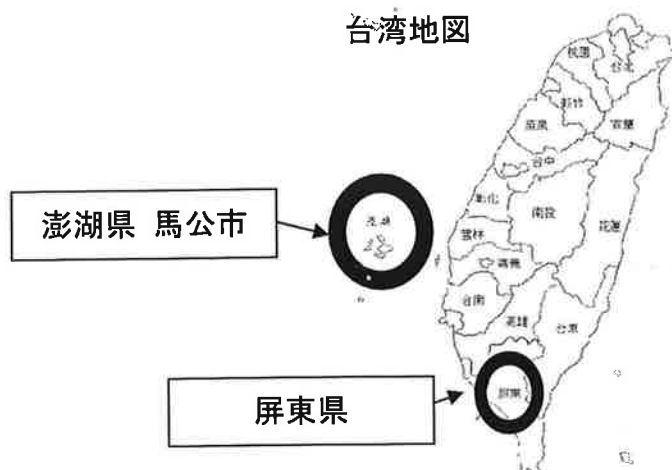
動物衛生課

出典：OIEホームページ等

http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11538

台湾における口蹄疫の発生について、OIEへ報告(1/23)がありましたのでお知らせいたします。

台湾地図



【概要】

- ・発生数：1件（緊急通報）
- ・発生日：2012年1月19日
- ・確定日：2012年1月21日
- ・血清型：O型

【発生状況】

- ・発生場所：台湾 澎湖県 馬公市
- ・概要：

台湾本島（屏東県）から澎湖島へ輸送され、検疫所で係留中の肥育豚のうち数頭から水疱が発見された。国立研究所にてRT-PCRを行った結果、口蹄疫血清型O型陽性。淘汰、施設の清掃・消毒は完了。

台湾本島における産地養豚場及び本養豚場から半径3km圏内にある偶蹄類を飼育している農場（牛/山羊/鹿農場1、山羊/豚農場1、鹿農場1、山羊農場5、牛農場7）において、臨床検査と疫学調査を実施。結果は、対象動物は全て健康で臨床学的・疫学的感染の証拠は確認されなかった。

現在淘汰した肥育豚から採料した材料について追加の検査を実施中。

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	239	140	0	239	0

【診断】

- ・診断施設：Animal Health Research Institute（国立研究所）

【対象】	【検査】	【検査結果】	【診断確定日】
豚	RT-PCR	陽性	2012/1/21

【感染源】

不明または調査中

【現地当局の対応】

- ・淘汰、隔離、スクリーニング、施設等の消毒
- ・ワクチン接種しない
- ・患畜を治療対象としない